

なくそう戦争法 守ろう憲法9条
声をあげよう 主権者はわたしたちだ！

憲法フェスティバル2016

晴天に1100人余が参加！カンパ10万円余も！

5月3日
水戸市千波公園
はなみずき広場



「なくそう戦争法 守ろう憲法9条 声をあげよう 主権は私たちだ」の呼びかけで、開催された「2016 憲法フェスティバル」は、快晴のもと、1100人以上の参加を得て、大きな広がりを見せました。

メインは若者を中心とした特別企画「わたしたちのミライを考えるパネルディスカッション」。あすわか弁護士の会（明日の自由を守る若手弁護士の会）共同代表の一人である30代の若手女性弁護士・黒澤いつきさんが基調報告とコーディネーターを担当し、学生が結成した「SEALDs=シールズ」、高校生が結集した「T-n s SOWL=テーンズ・ソウル」、茨城の若者が結成した「s a u d a @ i b r=ソーダ・アット・いばらき」代表が登壇。主権者として、立憲主義を破壊した政府に対して声を上げるこの意味や、戦争法を廃止させるこの思い、その重要性を討論しました。

かけがえのない個人一人ひとりが、 自分らしく生きることを保障するのが憲法

黒澤いつきさんが問題提起を行いました。憲法とは「ひとりひとりが自分らしく生きる自由を尊重することを基調としており、暴走する国家権力を縛る」ためにあること、憲法違反の秘密保護法や集団的自衛権を行使する安保法制=戦争法の危険性、憲法に「緊急事態条項」を入れようとするなどの、安倍政権の危険性を具体的に明らかにしました。

パネルディスカッションでは、「国は人の生活と命を守るためにあるべきなのに反対のことをしている」「18歳になった最初の選挙は自分の意志で投票する」「選挙に行って安保法反対の声を上げよう」「憲法を守る運動は笑顔で」など、積極的で具体的な意見が交歓されました。

◆県平和委員会は「戦後 沖縄の歴史」と「辺野古新基地反対」パネル展示

歴史部分のパネルは伊達代表理事の手作り。辺野古新基地反対は、昨年10月に翁長沖縄県知事が「埋め立て承認の取り消し」を行い、その後の裁判から「和解」、作業の中止に至る今年4月まで、「琉球新報」記事を活用してまとめた7枚のパネルでした。

また安倍首相が、「憲法に緊急事態条項を入れる」ことを表明しているなか、これらに関するニュース映像を視聴できるようにしたところ、好評でした。

「脱原発」や「冤罪を考える」など、多くのテント交流企画も好評でした。2棟を連ねた恒例の「県南9条の会交流会」では、100人以上が参加。テントからあふれた人も多く、熱気に包まれた交流が行われました。

恒例の「水戸工業高校ジャズバンド」や「水戸藩 YOSAKOI連」演舞で、溢れるエネルギーを感じました。憲法川柳、9条絵手紙展、9条ポスター展も好評でした。

憲法フェスティバル実行委員会は、昨年11月11日に、実行委員会準備会が開催され、事務局会議7回、実行委員会4回、その他宣伝行動やプレ企画に取り組んできました。

◆「憲法集会の総がかり行動」 実現しなかったけれど・・・じっくりと・・・

その中で、6回に及んだ昨年の「総がかり行動」を活かし、思想・心情・政党支持の違いを超えて、「戦争を廃止」「立憲主義の回復」で共通の思いをもった個人・団体が一緒になって憲法改悪を許さない声を上げることを追求しました。特に総がかり行動で共同した団体に丁寧に働きかけました。しかしさまざまな理由で共同開催は難しく、別々の開催となりました。しかし相手側も「方向は一緒です」と言っています。あきらめずに共同行動を呼びかけることが重要です。



◆「憲法を活かし、9条改悪を阻止」 全国各地で開催された集会

5月3日の憲法記念日は、全国各地で憲法を守り・活かす集会が開催されました。東京江東区の有明アリーナで行なわれた「総がかり」集会では、5万人が参加しました。

その中で、101歳のむのたけじさんが車イスで登壇し、「憲法9条は70年間国民の誰も戦死させず、他国民の誰も戦死させなかった。道は間違っていない」と語りました。また、「SEALDs=シールズ」の奥田愛基（あき）さんは「主権者は私たち。憲法の言葉は紛れなく私たちの言葉だ」と述べました。

歓迎！新入会員のみなさんです。 よろしくお願いします。

- ** ** さん（下妻市）
- ** ** さん（下妻市）
- ** ** さん（土浦市）
- ** ** さん（那珂市）
- ** ** さん（賛助会員・牛久市）
- ** * さん（鹿嶋市）

*ともに平和の声をおおきく広めていきましょう！

平和新聞

2016年5月15日（日曜日）

2109号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 **日本平和委員会**
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
（郵送料月額120円）電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版 平和新聞茨城版 No. 747
2016.5/15
発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

◆1200万筆に到達した署名!
提出は5月19日(木)

参議院選挙を視野に、
6月一杯継続して、2000万の実現へ!

2000万署名の取り組みでは、4月25日を閉め切りとして、「1200万筆以上集約」したこと、5月19日(木)に国会提出を行うことが明らかにされました。

さらに、7月の参議院選挙を視野に、6月30日まで署名を継続して、必ず2000万を達成することも確認されました。

2000万署名 提出行動!

とき 2016年5月19日(木) 14:00~15:00

ところ 衆議員第一議員会館 1階 多目的ホール

主催 総がかり行動実行委員会

【注意】 一般参加は人数が限定されるため、
満席になったら閉め切ります。

戦争法発動させない! 参議院選挙野党勝利
安倍内閣は退陣を!

5.19議員会館前行動

(茨城は国会図書館前)

とき 2016年5月19日(木) 18:30~19:30

ところ 衆議員第二議員会館前 ~ 国会図書館前

主催 総がかり行動実行委員会



【5.3憲法フェスティバル中央舞台から】

講演と対話の夕べ 戦争法廃止の実現を目指して

とき 2016年5月26日(木)

開場: 18時 開演: 18:30

ところ つくばイノベーションプラザ

(つくば市吾妻1-10-1)

【内容】

* 「戦争法は自衛隊の役割をどのように
変えるのか」

井上圭一氏 (土浦市・市議)

* 「茨城県にも新しい風

— 市民連合の意義」

先崎千尋氏 (元瓜連町長・茨城県市民連合共同代表)

※ 資料代 500円

主催・戦争をする国づくりNO@つくば

長田: 090-7845-6599



戦後70年企画

班忠義監督新作絵画上映会とお話を聞く会

太陽がほしい

「慰安婦と呼ばれた中国女性たちの人生の記録」

あの日から 太陽の光は消えた

闇に閉ざされた 彼女たちの人生に 寄り添いながら 光を
あてつづけた20年

いま彼女たちの そして歴史の闇に 太陽の光がさしこむ
班忠義監督20年に及ぶ 渾身のドキュメンタリー

とき 2016年5月21日(土) 開場: 12時50分

映画上映: 13時30分~15時30分 (120分)

班忠義監督のお話: 15時40分~16時20分 (40分)

ところ つくばサイエンス・インフォメーションセンター

TXつくば駅より徒歩3分・ノバホール隣り

※資料代 500円 連絡先: 福田 090-3537-2632

「第4回・理事会のご案内」

毎日の取り組みご苦労さまです。みなさんのご支援で憲法フェスティバルも成功を収めました。大会議案や日程について討議します。万障繰り合わせてご出席下さい。

記

とき 5月28日(土) 13:00~

ところ 水戸市・青少年会館

電話: 029(226)1388

住所: 水戸市緑町1-1-18

内容 ①仲間づくりと組織の強化

②大会関係 議案、日程等

③「戦争法廃止」の取りくみ

④大会までのとりくみの確認

◎事前に出席の可否を連絡下さい。

2016年 第56回 茨城県母親大会 in 結城

とき 2016年6月5日(日) 10:00~16:30

ところ 結城市民文化センター アクロス

▼受付 9:30~

▼シンポジウム・分科会 10:00~12:30

福富美穂子(弁護士)

「だれの子どももころさせない 決めるのはわたしたち

—安保法制 廃止に—」

▼全体会 13:15~16:00

記念講演: 高遠菜穂子さん(イラク支援ボランティア)

「イラクから見る日本

—暴力の連鎖の中で考える平和憲法—

▼母親パレード 16:00~16:30

※資料代: 1000円(高校生以下 無料)

昼食持参(軽食販売あり)

※見学分科会「結城の街歩き」は5月20日(金)締切

連絡先070-1400-2610